

Since
1936

リコーのあゆみ

【トピックス】



1936 - 1969

創業～事務機分野進出

1970 - 1984

OA を提唱

1985 - 1999

デジタル化を推進

2000 - 2009

グローバルカンパニーへ



プリンティングソリューションやドキュメントソリューションなど、ワークフローを効率化するソリューション提供を推進しました。さらにプロダクションプリンティング市場への参入やサービス事業の強化など、事業領域を拡大しています。ソリューション提供の強化に伴い、海外販売網をさらに強化。2006年にはDanka社の欧州販売事業、2008年にはIKON Office Solutions, Inc. をグループ化するなど、グローバルな販売サポート体制を構築しました。一方、2002年には国連「グローバルコンパクト」に日本企業として2番目に参加を表明。2003年には世界環境センター(WEC: World Environmental Center)から「持続可能性における国際企業の業績に対するWECゴールドメダル」をアジア企業で初めて受賞するなど、環境/CSR 経営を強力に推進しています。

2010 - Present

新たなお客様価値の創造へ

リコーのあゆみ

<http://jp.ricoh.com/company/history/>

2001年2月

デジタル複合機「imagio Neo 350シリーズ」が 業界初の省エネ大賞・経済産業大臣賞を受賞

リコー独自の省エネ技術QSU*¹を搭載した複写機「imagio Neo 350シリーズ」が、業界で初めて省エネ大賞の最高賞*²を受賞しました。お客様が複写機の省エネに関心を寄せる大きなきっかけとなり、環境配慮型製品の開発と普及が加速しました。

*1 QSU：クイックスタートアップの略。待機中の複写機を低電力で保ち、いざ使う時に素早く立ち上げる“使いやすさと省エネを両立”させた技術です。

*2 第11回省エネ大賞「経済産業大臣賞」



imagio Neo 350

2001年10月

子供たちの健全な育成と成長のため「市村自然塾 関東」設立

市村自然塾は、株式会社リコー及びリコー三愛グループの創業者である市村清の生誕100周年を記念して、神奈川県足柄上郡松田町に設立された特定非営利活動法人(NPO法人)。青少年の健全な育成を目的とし、「生きる力を大地から学ぶ」という基本理念のもと、次代を牽引していくリーダーとしての資質を備え、自ら生き抜く力を持った健全な子どもたちを育む場を提供いたします。



市村自然塾 関東



市村自然塾の子どもたち



関連サイト

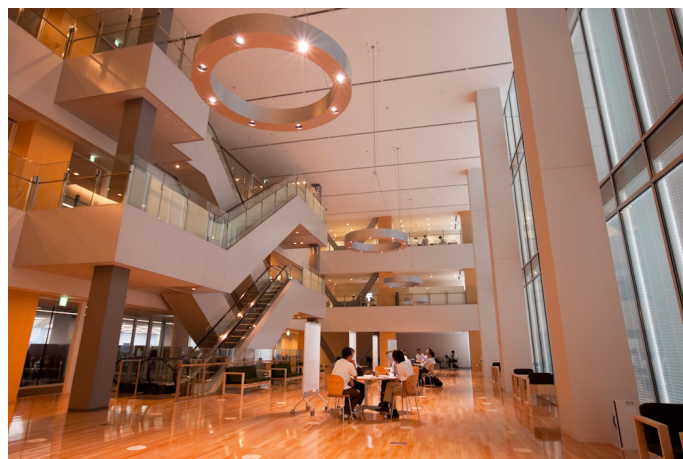
公式サイト

<http://www.szj.jp>

2005年8月

海老名市に複合機 / プリンターの開発拠点として、 リコーテクノロジーセンター設立

リコーテクノロジーセンターは、大森事業所(東京都大田区)や厚木事業所(厚木市)などに分散していた日本国内の画像&ソリューション製品(複合機・プリンター等)の開発拠点を集結し、要素技術開発から生産技術、さらには製品評価までを一箇所に集約したリコーの技術開発拠点。部門を超えたクロスファンクショナルな開発体制をとることが可能となり、開発効率の向上が可能になりました。



リコーテクノロジーセンター コラボスペース



リコーテクノロジーセンター

関連サイト

ニュースリリース

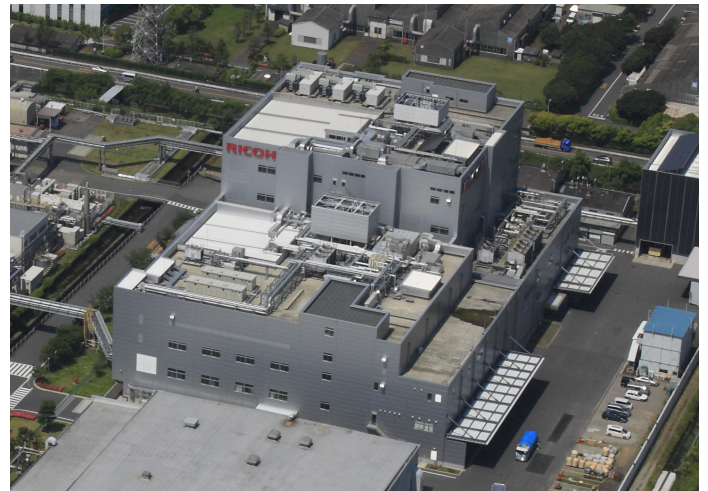
http://jp.ricoh.com/release/by_field/management/2005/1025.html

2006年10月

リコー沼津事業所に、 重合トナー「PxPトナー」の量産工場が竣工

「PxPトナー」は、ポリエステルを用いた重合トナーで、工法はエステル伸長工法という独自方式を採用。トナー粒子が小さく均一で、しかも形状制御が容易なため、一層の高画質化を実現する一方、トナーの定着温度をより低くすることが可能なため将来的に機器の省エネ化にも貢献します。

さらに製造工程でのCO₂排出量を、従来の粉碎トナーと比べ約35%低減することも可能です。新工場は、国内のサプライ生産拠点である沼津事業所（静岡県沼津市）に増設されました。



PxPトナー量産工場

関連サイト

技術ページ

http://jp.ricoh.com/technology/tech/043_toner.html

2006年12月

銀座・三愛ドリームセンターに広告塔を設置

リコー創業者の市村清が“リコー三愛グループ”のシンボルとして、昭和38年1月に建設した三愛ドリームセンター。リコーが創業70周年を機に、新しい広告塔を設置しました。デザインテーマは「誕生、成長」。新芽の伸びゆくイメージ、花のつぼみが咲く生命感を表しています。その後2014年9月には100%自然エネルギーで点灯する広告塔を設置し、現在に至ります。



三愛ドリームセンターの広告塔

関連サイト

紹介ページ

<http://jp.ricoh.com/company/advertisement/tower>

2007年11月

リコーテクノロジーセンターが、 リコーグループ初「日経ものづくり大賞」受賞

主要製品の研究・開発拠点であるリコーテクノロジーセンター（神奈川県海老名市）が日本経済新聞社主催の第4回 日経ものづくり大賞を受賞。

日経物づくり大賞は、「ものづくり」に関わる優秀な工場や研究所、そこで採用するプログラムやシステムを表彰するものです。

リコーテクノロジーセンターは、開発・設計・生産準備部門を集約し、クロスファンクショナルな開発体制による開発プロセス改革に取り組み、効率化を実現した点が評価されました。



日経ものづくり大賞表彰式

2008年10月

カラー POD 市場に本格参入 カラープロダクションプリンター「RICOH Pro C900」を発売

「RICOH Pro C900」は、プロダクション市場向けプリンターの新ブランド「RICOH Proシリーズ」の第一弾として発表されました。クラス*最高となるカラー/モノクロともに毎分90枚(A4横送り)の高速・高生産性を実現したうえ、プロダクション市場で求められる高画質出力や高い安定性・信頼性を実現し、本格的なPOD(プリントオンデマンド)ニーズに対応する一台となりました。

*本体標準価格が3,000万円以下のカラープロダクションプリンターにおいて
(2008年5月7日現在)



RICOH Pro C900

関連サイト

ニュースリリース

http://jp.ricoh.com/release/by_field/printer/2008/0508.html

2009年9月

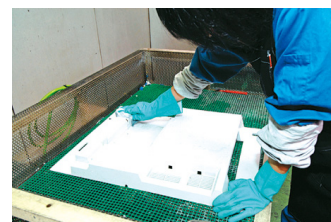
リコー初、デジタルフルカラー複合機のリコンディショニング機 「imagio MP C3500RC/C2500RC シリーズ」新発売

リコンディショニング(RC)機とは、再生処理を行い、別途所定の品質基準で保証を行う部品、または所定の品質基準で必要な部品を交換するなどの再生処理をした製品のこと。「imagio MP C3500RC/C2500RCシリーズ」は、リコーがデジタルフルカラー複合機として初めて送り出したリコンディショニング機で、リユース部品の使用率は質量比で平均80%を達成。しかもリユース部品を使用しながら、新造機*と同等の品質基準をクリアしています。

* 新品部品、または一部再製造された部品で構成された製品



imagio MP C3500RC



リコンディショニング作業

関連サイト

ニュースリリース

http://jp.ricoh.com/release/by_field/copy/2009/0901.html